

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡県警察第二機動隊庁舎	階数	地上3F
建設地	福岡県北九州市小倉北区片野新町	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、指定なし	平均居住人員	114 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	未定 予定	評価の実施日	2016年1月21日
敷地面積	22,915 m <sup>2</sup>	作成者	岩瀬弘太
建築面積	1,175 m <sup>2</sup>	確認日	2016年1月22日
延床面積	2,771 m <sup>2</sup>	確認者	塩出和人



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 82%  
③上記+②以外の 80%  
④上記+ 80%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 1.共用部の集約による効率的な平面計画。 2.周辺環境、配置計画を考慮した自然エネルギーの効率的利用、緑化による景観形成と熱負荷低減の両立、メンテナンスや将来の更新に配慮した計画。		0
<b>Q1 室内環境</b> 個別方式の空調設備を採用し、居室の場合は30m <sup>3</sup> /h以上の換気量を確保する。建材についてはほぼ全て☆☆☆☆を採用することで、室内環境を良好に保つ計画。	<b>Q2 サービス性能</b> PS、EPSに予備スペースを設けることで、設備機器の更新性向上を図る。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内は既存樹木を極力残し、屋上は緑化を行う
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電、自然換気による自然エネルギーの有効活用を行う。 LED照明、省エネルギー型換気扇を採用し設備の省エネルギーを図る。 主要な窓には庇を設け、熱負荷低減を図る。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル品の利用を積極的に行う。	<b>LR3 敷地外環境</b> 環境配慮技術や設備の効率化によってライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出の低減に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される